





日本医療機能評価機構認定

さくら病院の理念

健·康·通·信

愛の心と確かな医療技術を以って社会に奉仕する。Vol. 73







さくらユニット 病棟師長 野中 光代

令和2年4月よりさくら病院に入職し、緩和ケア病棟の師長に配属となりました。新型コロ ナ感染症が日本に広がり始めた頃で、当時新型コロナの感染防止対策は手探りでした。コ ロナ禍で、緩和ケア病棟の役割を果たすため、ご家族の面会を継続しながら感染防止をど うするか、医師と何度も話し合い、制限付きでご家族のみ面会を継続してきました。緩和ケ ア病棟は全室個室なので感染対策が行いやすいのですが、ご家族のご理解とご協力が欠 かせません。

コロナ禍で緩和ケアの状況も変わりました。ご家族が最期まで一緒に自宅で過ごしたい と希望する方が増え、緩和ケア病棟から在宅療養へ移行する件数が増えました。それに伴 い在宅医療にも力を入れ、訪問看護師との連携を密に図るようになりました。

また、さくら病院の緩和ケアを選んでいただいた期待に応えるため、医療と看護の質向 上に取り組んでいます。褥瘡予防に力を入れ褥瘡発生件数は激減し、スキンケア等を丁寧 に行うことで患者さんのケアに対する評価も高くなりました。緩和ケアの症状コントロール に対しては、最新のガイドラインに沿った緩和医療へ見直しを行い、スタッフのスキルアッ プの為、常に勉強会を行っています。患者さんやご家族から頂いたご意見は次のケアに活 かしています。以前に比べてご家族と話す時間は限られていますが、これからも患者さんと ご家族にできるだけ寄り添い、緩和ケアを提供していきたいと思っています。



アルコールと肝臓病

医局長 早田哲郎

お酒が肝臓病を起こすことはよく知られていますが、コロナ禍以降、自宅での飲酒、いわゆる"宅飲み"が増えており、中には以前より飲酒量が増えている方もいらつしゃるようです。お酒が肝臓に悪いというのは誰でも知っていると思いますが、では、どれくらい飲酒すると肝臓に悪影響を及ぼすのでしょうか。

アルコール

飲酒量は、お酒の種類には関係なく"純アルコール"の量が問題になります。例えば、アルコール濃度5%のビール500mlであれば、500×5%で25gという計算です。これに当てはめると、ビー



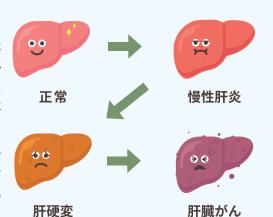
ル500ml、日本酒1合、焼酎2/3合がほぼ同量で、9%の酎ハイは350mlでもビール500mlよりも多くなってしまいます。一般的に1日平均40gから60gのアルコールを摂取するとアルコール性肝臓病を起こすと言われていますので、ご自分が飲んでいる量を一度計算してみられたらと思います。

アルコールの分解力は個人差があります。ビール1杯で顔が真っ赤になる人や、いくら飲んでも全く変わらない人がいますが、これはアルコールの中間代謝産物であるアセトアルデヒドを分解する酵素を遺伝的に持っているかどうかの違いで、アセトアルデヒドを分解する力が強ければ"お酒が強い"ということになり、同量の飲酒をした場合、"お酒が強くない"人に比べて肝臓病は起こりにくいと言えます。これは両親から引き継いだ遺伝子によるものですので、飲んで鍛えて変わるものではありません。もちろんお酒が強くても、それ以上に飲めば肝臓病になります。

肝臓病

アルコールによる肝臓病は、進行すると肝硬変や肝がんの原因になるので注意が必要です。以前は、B型肝炎やC型肝炎といったウイルス肝炎が肝硬変、肝がんの原因として問題視されていましたが、今やウイルス肝炎は飲み薬でコントロールできる時代になっており、現在の日本では、アルコールによる肝臓病の方が重要になっています。

アルコールによる肝臓病の治療は、アルコールを断つこと以外にありませんが、飲酒量を減らすことで進行を遅らせることはできます。しかし、いざ減らそうと思っても、飲酒が習慣化していると、そう簡単ではなさそうです。頭ではわかっていても、1杯飲むと



2杯、3杯とつい飲んでしまう方もいます。これはもしかするとアルコール依存症予備軍かも知れません。そのままにしておくと、肝硬変や肝がんで命を落とすという危険性も出てきます。

さくら病院の肝臓内科は、肝臓病全般の診療を行っていますが、アルコールによる肝臓病や、アルコール依存症の診断・治療も積極的に行っています。健康診断で注意を受けた方、心当たりがある方、ちょっと心配で調べて欲しい方など、一度、相談に来てみてください。

- ・飲酒量は、お酒の種類には関係なく、"純アルコール"の量で決まる。
- ・お酒が強い弱いは、生まれ持った個人差であり、飲めば強くなる訳ではない。
- ・アルコールによる肝臓病は進行し、肝硬変や肝がんの原因になる。
- ・知らないうちにアルコール依存症になっているかも。早めに相談を。





自分の健康は自分で守る **受けよう!健康診断**



・福岡市がん検診

胃がん検診(胃カメラ・胃透視)、大腸がん検診、前立腺がん検診、胃がんリスク検査

- ・生活習慣病予防検診(協会けんぽ)
- 人間ドック(当院独自のコース)
 ※脳MRI・MRA、胸部CT等を付け加える事が可能
 人間ドックA、人間ドックB(大腸カメラコース)、脳ドック、肺がんドック
- ・アルツハイマー病リスク検査 APOE遺伝子検査、MCIスクリーニング検査
- アミノインデックススクリーニングがんリスクスクリーニング、生活習慣病リスクスクリーニング



- サリバチェッカー(唾液を用いた、がんリスク検査)
- ・その他 定期健康診断、特定健診、福岡市のよかドック・よかドック30 福岡県の後期高齢者健康診査



多種多様な健診内容で、幅広い年齢層に対応しています。

健診担当の医師が、丁寧に問診・診察します。 健診担当の看護師が丁寧に対応し、 スムーズにご案内します。

一般健診に追加できる項目がたくさんあります。自費健診も種類が豊富です。

協会けんぽの胃検査は通常胃透視ですが、 当院なら、無料で胃力メラに変更可能です。

他施設等と比較し、金額を安く設定されています。



詳しくは、外来健診担当までお尋ねください。 (健康診断パンフレットをご用意しております)



部署紹介

地域医療連携室

こんにちは!地域医療連携室です。

当院は急性期一般病棟・地域包括ケア病棟・障害者施設等一般病棟・緩和ケア病棟を有し、訪問看護ステーションやデイケア・高齢者施設も併設しています。あらゆる健康段階・あらゆるニーズに対応できる「地域密着型多機能病院」として、入退院の支援や様々な医療相談に介入しています。モットーはフットワーク軽く動くこと。当院の機能を駆使し、柔軟な発想で対応するよう心掛けています。先日はご家族3人の転院をそれぞれ異なる病院から受け入れ、当院にて再会ができた事例がありました。ご家族単位で療養場所を検討するケースも増えています。対象者の社会的背景や価値観を大切にしながら支援させていただいています。

また、当院は在宅療養支援病院として8つのクリニックさんと協力し、訪問診療を行っています。可能な限り自宅療養を継続したいという緩和ケアの方も少なくあ

りません。レスパイト入院*も活用していただきながら、 ご希望を実現できるよう調整しています。これからも、 地域における他施設・他機関との絆を深めながら、一人 一人の患者さんの暮らしを支える応援団としてサポー トしていきたいと考えています。

※レスパイト入院とは、介護者の負担軽減のための一時的な入院のことです。



豆知識 ②「糖質でロ」「糖質オフ」「糖類でロ」… シリーズ ② その違いを知っていますか?

お店でよく見かける糖質や糖類の表示について説明したいと思います。

「糖質ゼロ」「糖類ゼロ」は同じもの?

「糖質ゼロ」と「糖類ゼロ」では意味が違います。(右図)

「糖質ゼロ」の食品の場合、糖質は全て含みません。

「糖類ゼロ」の食品の場合、糖類(砂糖・ブドウ糖など)は含みませんが、 でんぷんや糖アルコール(キシリトールなどの天然の甘味料)が使われてい たりします。

炭水化物 米飯・パンなど

糖質 でんぷん オリゴ糖 糖アルコール

糖類 砂糖 ブドウ糖 食物繊維

糖質・糖類量がゼロでなくても「ゼロ」の表示ができる!

「ゼロ」「オフ」などの表示ができる基準が右表のように定められています。

「糖質オフ」は表示基準が決まっていませんが、販売者の責任において比較対象食品に比べて減らされていれば、「糖質〇%オフ」と表示ができるのです。「オフ」や「カット」といった『減っている』ことを示す表示と、「控えめ」や「ライト」など『低い』ことを示す表示は、似ていてもそれぞれ基準は異なります。ちなみに、カロリーに関しても同様で、「カロリーゼロ」「カロリーオフ」と表示された商品にカロリーが全く入っていない訳ではありません。

201	H-1000				
		糖 <mark>質</mark> ・糖類 ゼロ	糖類オフ	糖質オフ	
	飲料100mL あたり	0.5g未満	2.5g未満	表示基準	
	食品100g あたり	0.5g未満	5g未満	なし	

(食品表示法 食品表示基準より)

「ゼロ」「オフ」「低」「ダイエット」などと記載されているからといって、安心して1日に何個も食べると、気付かないうちに糖分やカロリーを多く摂取してしまうので注意してくださいね。





感染広報だより

当院の感染対策委員会の新たな体制について

~ ICT (感染対策チーム) ~

今年度より、さくら病院の感染対策委員会では、新たにICT(感染対策チーム)を立ち上げ、院内の感染対策について、より積極的に活動をしています。活動内容の一部を紹介します。

◆ICT(感染対策チーム)とは

ICTとはInfection Control Teamの略で、infection: 感染をcontrol: 制御するチームという意味です。院内感染から患者さんや職員を守る為に、病院としての対策を検討し、手順を作成します。また、定期的に手順が遵守されているかを確認し、院内で発生した感染状況もチェックしています。メンバーは多職種にて構成されており、それぞれの専門性を発揮し協働で感染対策、感染を低減させる事に日々取り組んでいます。

◆構成メンバーと役割

現在、医師1名、看護師4名、薬剤師2名、臨床検査技師1名、リハビリ1名、 事務1名の10名で活動しています。

- ・看護師は、感染を広げないための手技や知識の専門的な研修をうけ、現場 の看護師が適切に動けるよう、手順書を作成したり、教育を行います。
- ・臨床検査技師は、患者さんから検出された細菌の集計、分析を行います。 その中で耐性菌が検出された場合は、他の患者さんに伝播しないように、 特に注意して監視を行います。
- ・薬剤師は、耐性菌の出現を抑制するため、抗菌薬の適正使用について医師 と協同で監視をしています。





◆具体的な活動内容について

環境ラウンド

各病棟や各部署を巡回し、感染対策が適切に行えているのかチェックリストにそって確認していきます。適切に行えていない場合には、問題点を明らかにして対策を行います。

抗菌薬ラウンド

抗菌薬の適正使用の推進を行います。抗菌薬を漫然と使用すると、菌は 抗菌薬に対して耐性化し、次に感染した時に同じ薬では効果が得られなく なつてしまいます。特に広域抗菌薬と言って、どんな菌にも効果を発揮す る抗菌薬は耐性菌を作りやすいという特徴があります。そのため、広域抗 菌薬を使用している患者さんについては全症例を対象にICTでカルテを 確認し、使用が適切に行われているかを確認しています。

他病院との連携、カンファレンスへの参加、サーベイランス

地域の医療施設と連携し、感染対策や抗菌薬の適正使用促進などに関する合同カンファレンスに参加しています。その他、当院で検出された菌や抗菌薬の使用量、手指消毒の使用量のデータを集計・提出し、地域全体での感染対策・抗菌薬適正使用の充実・改善に向けて取り組んでいます。



環境ラウンドの様子



抗菌薬ラウンドの様子

◆まとめ

ICTは、多職種で連携し、患者さんとご家族、医療従事者など、全ての人を感染から守るための活動と、医療従事者の感染防止に対する意識・知識・技術の向上にむけて、これからも努めてまいります。



感染対策委員会



こんにちは!

地域医療連携室です。

どうぞお気軽にご相談ください。

地域医療連携室(医療介護相談室)では、患者さん・ ご家族からの様々なご相談を承っています。

例えば、当院への入院のご相談・退院後の生活に 対する不安・介護サービス等社会資源のご紹介・経済的な 問題についてなど、一緒に考えさせていただいています。

また、患者さんへ適切な医療が提供できるよう、 地域の診療所や病院・施設・在宅サービス事業所等 との連携に努めています。

どうぞお気軽にお声かけください。

地域医療連携室

J TEL 092-864-1245

FAX 092-864-1213

受付平日8:30~17:00

土曜日 8:30~12:30

室 長 吉瀬 副室長 松山

医療ソーシャルワーカー 足立·橋迫·水元

谷山·梅田



1.1

外 来 診 察 表

		月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
	第 1 診察室	家村 優子 内科/神経内科	小柳 尚子 内科/循環器内科	武田 由美内科/糖尿病内科	早田 哲郎 内科/肝臓内科	江頭 省吾 内科/循環器内科	河野 徳子 内科/呼吸器内科
午	第2 診察室	小田 晋也 内科/循環器内科	江頭 啓介 総合内科	江頭 芳樹 総合内科	岩﨑 敬雄	江頭 啓介 総合内科	江頭 啓介 総合内科
	第3 診察室	江頭 省吾 内科/循環器内科	早田 哲郎 内科/肝臓内科	秋満 俊介 内科/循環器内科	江頭 啓介 総合内科	王寺 恒治 内科/消化器内科	東 大樹/大城 彩香 糖尿病内科
前	第5 診察室	吉田 芽 健診/ドック	村上修二 内科/心療内科	天野 角哉 内科/消化器内科	中野 修治 健診/ドック	田邉 桃香 内科/緩和ケア内科	早田 哲郎 内科/肝臓内科
	第6 診察室	楠原 浩之 内科/消化器内科	吉田 芽 健診/ドック	吉田芽健診/ドック	池内 伸光 呼吸器内科	吉田 芽健診/ドック	吉田 芽 健診/ドック
	第 1 診察室	天野 角哉 内科/消化器内科	江頭 芳樹 総合内科	王寺 恒治 内科/消化器内科	村上 祐一 内科/消化器内科	武田 由美内科/糖尿病内科	
午	第2 診察室	家村優子 神経内科	武田 由美内科/糖尿病内科	米良 英和 神経内科	江頭 啓介 総合内科	小田 晋也 内科/循環器内科	
	第3 診察室	秋満 俊介 内科/循環器内科	河野 博之 内科/循環器内科	楠原 浩之 内科/消化器内科	江頭 省吾 内科/循環器内科	秋満 俊介 内科/循環器内科	
後	第5 診察室	田邉 桃香 内科/緩和ケア内科	小柳 尚子 ^{循環器内科}	村上修二 内科/心療内科	中野 修治 健診/ドック	中園 智美心療内科	
	第6 診察室	河野 徳子 内科/呼吸器内科	吉田 芽 健診/ドック	磯部 泰司 腫瘍血液内科	竹内 亮 内科/緩和ケア内科		

病院までの交通アクセス ■地下鉄七隈線/福大前下車1番出口より徒歩10分 至西新 ■都市高速/堤ランプより車で3分 ■車/天神より約30分(本館地下駐車場、本館東側に第2駐車場があります。) ■バス/西鉄バス〈さくら病院前バス停下車〉の場合 ■天神方面より:協和ビル前のりば片江(営)行・・・・・・13番 ■西鉄大橋駅より:・・・・・・・・・・・・・・・・・外環700番 野芥駅 西鉄バス〈西片江一丁目バス停下車〉の場合 ■天神方面より:警固神社・三越前のりば片江(営)行 ……114番 協和ビル前のりば片江(営)行・・・・・12・140番 ■西新・飯倉方面(脇山口)より: · · · · · · · · · · · · 95番 ■博多駅方面より:博多駅前のりば片江(営)行・・・・・・16番 博多バスターミナル片江(営)行・12・114番 ■桧原・片江方面より: ……6・12・16・95・114・140番

医療法人社団 江頭会 さくら病院

医療法人社団 江頭会 さくら病院

サービス付き高齢者向け住宅

住宅型有料老人ホーム

在宅医療介護センターさくら 訪問看護ステーションさくらんぽ ホスピコート長尾 アドバンスケア長尾

社会福祉法人 桜花会 ライフケア大手門

社会福祉法人 桜花会 ライフケアしかた

社会福祉法人 桜花会 ライフケア柏原

〒814-0143 福岡市城南区南片江6丁目2-32 TEL092-864-1212 FAX092-865-4570 E-mail:info@sakurahp.or.jp ホームページ:http://www.sakurahp.or.jp/

直通TEL

1内科 092-872-5611 事務所 092-801-7386 2内科 092-872-5612 ユニット 092-872-5615 3内科 092-872-5613